

取り組み紹介書

施設 和合せいれいの里	職場 _____ 氏名 _____ (団体の場合は団体名 和合愛光園和合サテライト)
----------------	--

<p>【タイトル】 地域の方々の想いをカタチに ～取り戻そう！ホタルの棲む環境～</p>
<p>【課題】 サテライトのある場所は 40 年以上前から多くのホタルが飛び交う自然豊かな場所だった。サテライトを建設する際、地域の方々から「ホタルを絶やさないでほしい」という意見があった。開設の頃にはサテライトの南側を流れる新川にたくさんのホタルが飛び交い、毎年ご利用者・ご家族とでホタル観賞のレクリエーションを行ってきた。開設した 5 年前には探すこともなくたくさん観られたホタルだったが、年数が経つにつれ数は減り、昨年度は探さなければ見つけれないところまでホタルは減少してしまった。川岸には川が流れていることが分からないくらいの草木が生い茂り、5 年前とは全く違う景観になってしまった。</p>
<p>【目的】 開設の頃や 40 年前のように多くのホタルが飛び交う環境を取り戻す！ 「ホタルを絶やさないでほしい」という地域の方々の想いをカタチにしたい！ また、地域密着型特養として、ホタルを守る活動を通して地域と融合する</p>
<p>【方法】 浜松市河川里親制度を利用し、2018 年度から新川の里親となり、河川美化とホタル育成の取り組みを始めた。ホタルの生育に合わせエサとなるカワニナを撒き、ホタルが好む環境を荒らさない程度の除草作業を行ってきた。</p>
<p>【結果・効果】 活動開始から 10 ヶ月が経った 2019 年 6 月…昨年度とは比べものにならない程、多くのホタルが飛び交った。昨年度までは和合サテライトのレクリエーションとしてのホタル観賞会だったが、今年度は地域へのアナウンスも行い、サテライトのご利用者と地域の方々が一緒にホタルを鑑賞する機会をつくることができた。ご利用者からは「50 コくらいホタルが光るのを観られました！」という声が聞かれ、参加された地域の方からも「ずっとこの近くに住んでいるけど、こんな近くで、こんなにたくさんのホタルが観られるなんて知りませんでした！」「ここまでたくさんのホタルが飛ぶのを見たのは何十年ぶりかな！」との声を聞くことができた。ホタルが減少していくことを今までは嘆くことしかできなかったが、河川美化とホタルの育成を行うことで以前のように多くのホタルが飛び交う環境を取り戻すことができ、地域の方々やサテライトのご利用者が関わりあう機会をつくることもできた。河川美化・ホタルの育成の活動を継続していくことで、地域の方々の「ホタルを絶やさないでほしい」という願いも守り続けることができると考える。</p>